

1. 三好町交通基本計画について

1.1. 交通基本計画の基本理念と基本方針

(1) 交通基本計画の基本理念

三好町交通基本計画では、歩行者・自転車・自動車・公共交通などそれぞれの交通手段が共存でき、三好町に住む人、訪れる人、すべての人にやさしい交通環境の実現を目指す。これによって、人々のふれあい・交流が促進され、持続可能な活力あるまちが形成されることを期待し、以下を基本理念として位置づける。

《交通基本計画の基本理念》

“安全・安心・便利”な交通が継続するまち
～ 人が優先された交通環境へ ～

(2) 交通基本計画の基本方針

基本理念の実現を目指し、多岐にわたる交通の問題を解決するためには、様々な側面から施策を実行していく必要がある。そのためには、行政だけでなく町民（本計画では、三好町住民だけでなく従業者・通学者や関係団体を合わせて「町民」とする）や交通事業者など、交通に関わる人々が同じ意識をもって協働で継続的に取り組むことが重要となる。

本計画では基本方針として以下の4点を定め、より望ましい交通環境の実現を目指す。

《基本方針》

- ① だれもが利用しやすい交通施設の整備
- ② 公共交通の利用促進
- ③ 道路ネットワークの強化
- ④ 協働による交通施策の推進

① だれもが利用しやすい交通施設の整備

だれもが安心して利用できる、バリアフリー^{注1)}やユニバーサルデザイン^{注2)}に配慮した交通施設の整備を行う。公共施設や商業施設、駅・バス停など、人が集まり憩う空間への経路・ネットワークとして、安全で便利な歩行者・自転車利用の環境整備を促進する。

② 公共交通の利用促進

だれもが移動しやすく、自然環境に配慮した交通体系の実現を目指し、公共交通ネットワーク^{注3)}の充実と利用促進を図る。公共交通が便利で安心して使えるよう、公共交通に関わる施設、サービス、情報など、利用者ニーズに応じた施策を展開する。

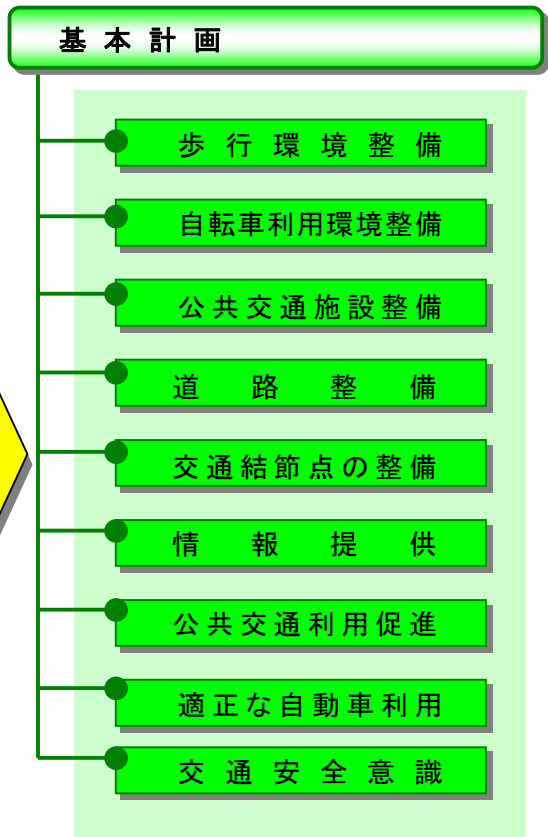
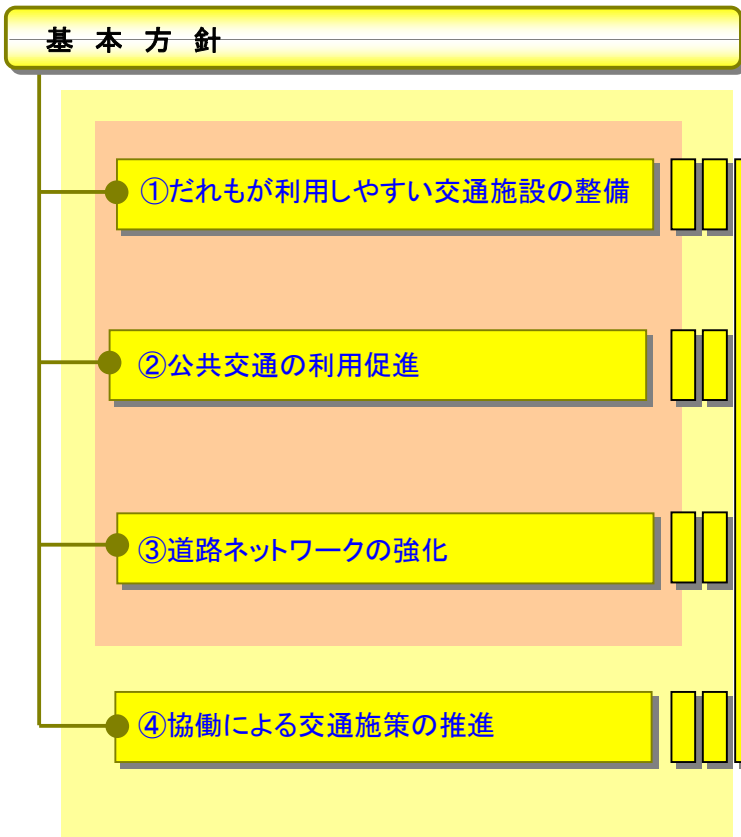
③ 道路ネットワークの強化

円滑な自動車交通を実現するため、公共交通ネットワークと連携し、都市内道路ネットワークの充実や広域的交通網の強化を図る。地区内の生活道路・区画道路では、人が優先された安全で快適な道路環境整備を促進する。

④ 協働による交通施策の推進

地域の状況に合った交通環境を創造するため、交通に対する人々の意識高揚を図り、町民、交通事業者、行政などが協働で継続的に取り組むことのできる体制づくりに努め、町民自らが関わる交通施策の展開を推進する。

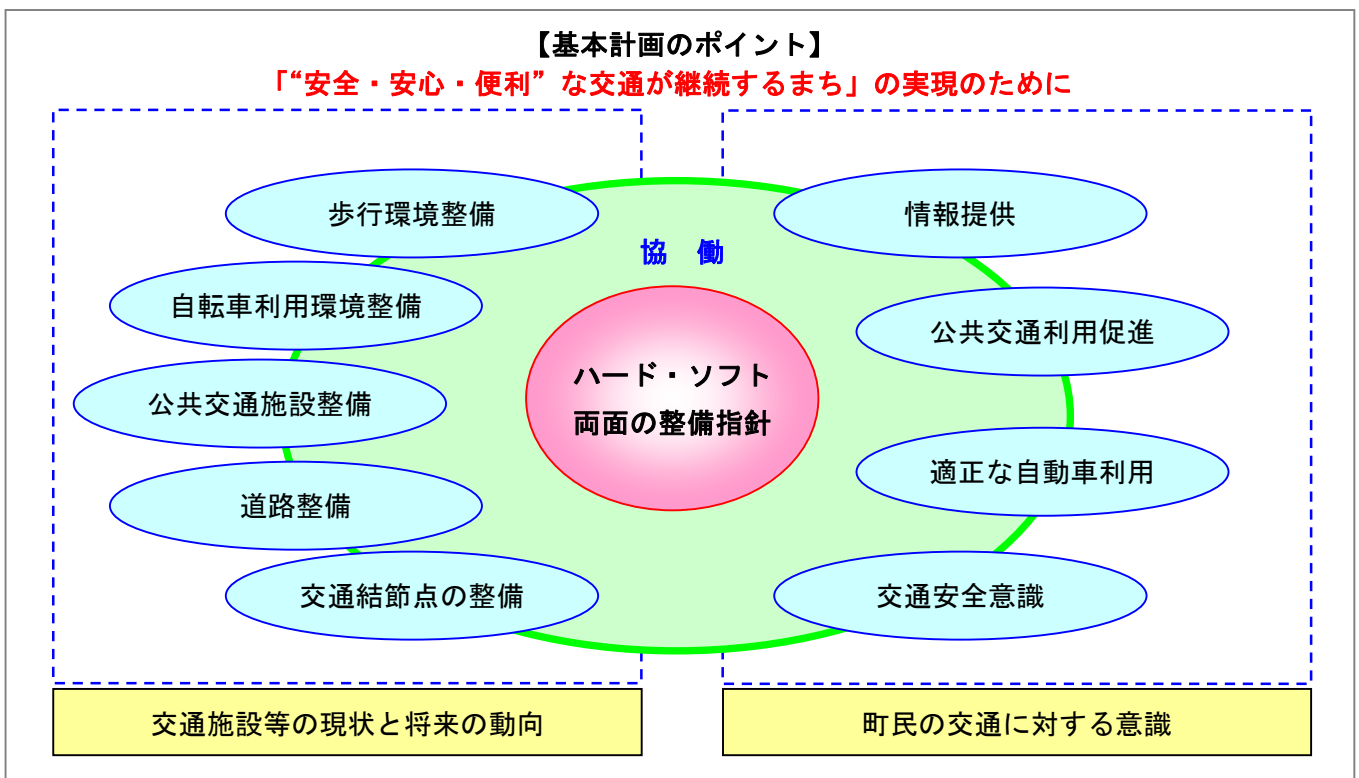
注) は次頁に示す



注1) バリアフリー：高齢者や障害者が生活の支障となるものを取り除いた状態
 注2) ユニバーサルデザイン：老若男女問わず誰もが利用できる施設・製品・情報のデザイン
 注3) 交通ネットワーク：道路や鉄道、バス路線等により構成される交通の網

1.2. 基本計画

(1) 基本計画のイメージ



(2) 基本計画の内容

○ 歩行環境整備

誰もが安心して、安全かつ楽しく歩行できるように配慮した整備を行う。居住環境エリア^{注)}では自動車と共存できる空間を、幹線道路では自動車と分離した安全な空間を目指す。

○ 自転車利用環境整備

手軽に利用できる乗り物である自転車で、安全に楽しみながら走行できるよう、自転車ネットワークの充実を図り、また駐輪場設置等の施設整備を行う。

○ 公共交通施設整備

人の流動に対応した効率的な公共交通ネットワークを形成するとともに、新たな開発計画等も考慮し、誰もが利用しやすい安全な駅やバス停施設を整備する。

○ 道路整備

幹線道路においては都市計画道路の整備を促進し、円滑な流動を実現させる。地区内の生活道路・区画道路では、通過交通を抑制するとともに、人が優先された安全で安心な道路を整備する。

○ 交通結節点の整備

より多くの方が公共交通を利用できるよう、利便性の高い交通の乗り継ぎを実現するための基本的要素を備えた交通結節点（駅・バス停）を整備する。また、様々な交通や生活情報が集まる場所については、基本的要素に加えて拠点性を併せ持つように整備する。

○ 情報提供

移動についての分かりやすい情報を、誰もが、どこにいても、簡単に手に入れることができる仕組みを創り、あわせて町民の交通問題等の意識を高める。

○ 公共交通利用促進

公共交通の利用を促進・増大させるために、単なるPRに留まらず、公共交通に関わるサービスレベル全体を向上させる。

○ 適正な自動車利用

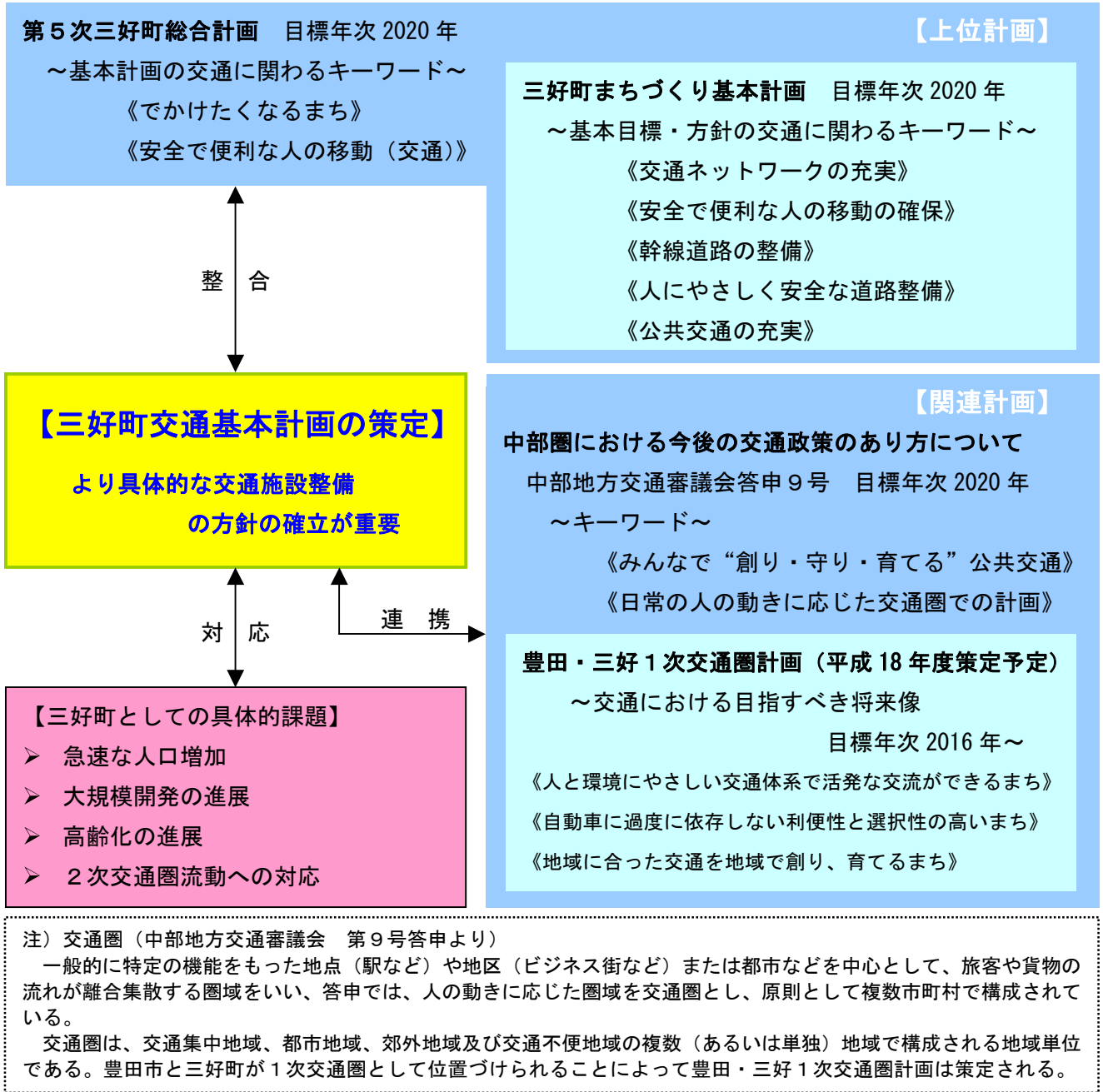
環境負荷、交通事故の増大等の、過度な自動車利用の問題点を誰もが認識し、適正な自動車利用方法を自ら考え行動する。またその受け皿として、公共交通の利便性向上や歩行者・自転車の歩行・走行環境整備を促進する。

○ 交通安全意識

誰にとっても安全な交通環境を実現するために、マナー面も含めて交通に対する意識を向上させる。

注) 居住環境エリア：主に住宅地において、自動車の進入制限・速度抑制が実施された歩車共存道路の導入などによって、安全に歩行・自転車利用できる生活空間

1.3. 計画の背景



1.4. 計画の目的

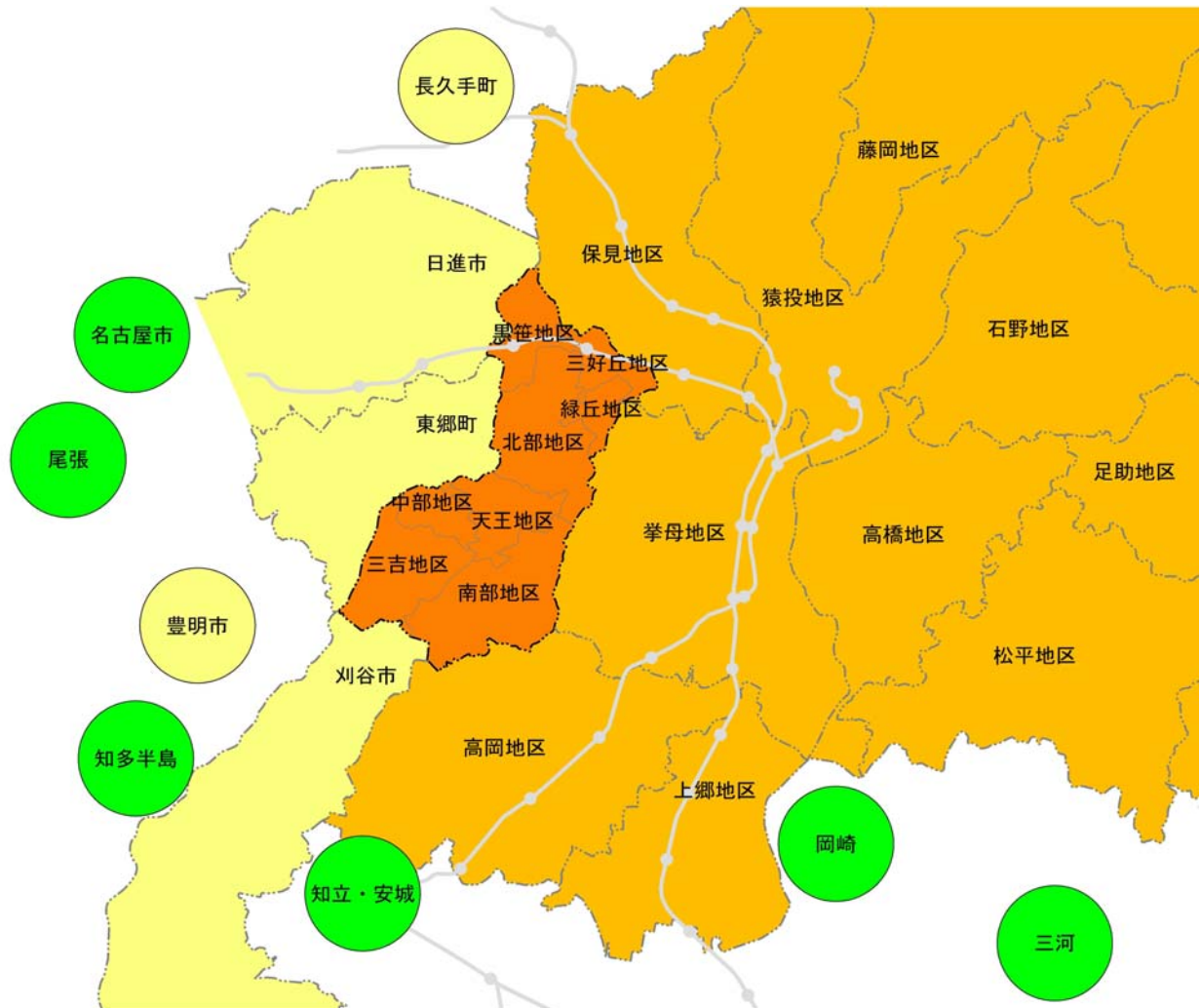
- ・ 現状と将来を見据えた課題を踏まえ、交通の視点から見た将来あるべき三好町の方角性(将来像)を示す。
- ・ 将来像の効率的な実現のために必要な各交通施策の整備指針を示す。

1.5. 計画期間

本計画の計画期間は、平成19年度（2007年）～平成28年度（2016年）までの10年間とする。

1.6. 三好町交通基本計画の対象地区と周辺地区

三好町内は、小学校区を基にして、8地区（地区名は小学校区の名称を用いた）に区分した。三好町の東部は豊田市と隣接しており、西部は日進市、東郷町、刈谷市と隣接している。本計画で区分した三好町内の地区と隣接する市町や地区を以下に示す。



※尾張：上記の図上にはない尾張地方の都市をまとめたもの

※三河：上記の図上にはない三河地方の都市をまとめたもの